

---

皆さま方には、平素より市政運営にご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。  
それでは、12月の月例記者会見の資料についてご説明申し上げます。

【市長】

資料No.1 「令和5年度市長感謝状贈呈式(下期)について」です。

裾野市では、多額の私財を寄附したものの内、裾野市表彰条例に基づき表彰されないものについて、毎年6月と12月の2回、市長感謝状を贈呈しています。

12月に行うものにつきましては、4月から9月までのご寄附が対象となり、今回は1団体へ感謝状を贈呈させていただきます。

この度のご芳志に対する謝意を表するとともに、それに応えられるよう、引き続き人と企業に選ばれるまちを目指して、日本一市民目線の市役所として行政運営にまい進してまいります。

資料No.2 「裾野市観光・スポーツ大使林源平選手防衛戦について」です。

令和5年4月、裾野市観光・スポーツ大使として委嘱し、同年6月の王者決定戦で見事優勝した、パンクラスのウェルター級王者、林源平選手が、12月のファイナルチャンピオンシップに出場します。

試合が行われる12月24日は「パンクラス30周年記念大会」と銘打ち、その歴史が刻まれた記念すべき大会で「世界一に向けての第一歩なので、しっかりと防衛します！」と自身の言葉を現実のものとするべく、大一番のリングに立ちます。

応援をよろしくお願いいたします。

資料No.3 「令和6年裾野市はたちの会」についてです。

今年度20歳になる方の門出をお祝いするため、市主催による「はたちの会」を令和6年1月7日に開催します。

会場は、裾野市民文化センター多目的ホールで、昨年同様、【東地区・深良地区・須山地区】と【西地区・富岡地区】の2回に分けて実施します。

令和4年の、民法の改正により、明治時代から約140年ぶりに成年の定義が見直され、成人年齢が20歳から18歳に引き下げられました。裾野市は20歳になる方の節目をお祝いの対象とするため、「成人式」という名称で式典を開催するのではなく公募により選定された、「はたちの会」として令和5年開催しております。

当日は、新しい時代を担う634人のはたちの皆さんが、心身ともに健やかにご成長され立派な大人になられた姿をみられることをとても楽しみにしております。

当日の取材をよろしくお願いいたします。

【市長】

資料No.4 「ライフイズテック株式会社との包括連携協定の締結」についてです。

当市とライフイズテック株式会社様は、本日付けで、包括連携協定を締結いたしました。

デジタルにより社会が激しく変化している中で、地域社会や経済基盤もデジタル化に対応していく必要があり、裾野市が掲げる「人と企業に選ばれるまち」の実現にあたって、これからの時代を生き抜き・地域を牽引するデジタル人材の育成は急務と考えています。

学習指導要領の改訂や教育の情報化等も踏まえて、より高度な学びの機会を提供するために、全国で先行して ICT 教育に取り組み、実績を挙げられているライフイズテックさんの知見を本市においても生かしていただきたく、連携協定を締結いたしました。

具体的な内容については、デジタル部長から説明します。

#### 【デジタル部長 説明】

企業との連携協定についてご説明いたします。

本協定は、日本一市民目線の市役所を実現し、裾野市DXを更に推進させることを目的に連携を図るものです。

連携先の「ライフイズテック株式会社」は、2010年の設立以降、デジタル・イノベーターの育成を主とした、「地域でのデジタル人材の育成」と「地域ロイヤリティ（信頼・共感）向上」の取り組みとして、プログラミング学習に取り組まれている企業です。

中高のプログラミング教材での採用数が非常に多く（186自治体でナンバーワン）また、現在モデル的に採用している市内中学校においても、教員からの評価が非常に高いと伺っています。

プログラミング教育は専門性の高い分野を含むため、市内全校で均一な教育を維持するためにも、質が高く、新しい技術の導入にも随時対応できるスキルが必要であり、「ライフイズテック」様には、このようなスキルを十分に発揮していただけるのではないかと期待しております。

また、今年度から Z School という、AI など新たな技術を活用することでさらに効率的なプログラミング教育を目指すという新しい事業を計画されているともお聞きしております。

AI などを活用したプログラミング教育という、この新たなチャレンジにつきましても、今後注視していきたいと思っております。

以上でデジタル部からの説明を終わります。引き続き、ライフイズテック株式会社代表取締役 CEO 水野雄介 様からご説明を頂戴します。

#### 【ライフイズテック株式会社 代表取締役 CEO 水野雄介 様 事業概要説明】